

未成年だった母が一人で晩を出産、後ろ盾も稼ぎも知識もなかった母は赤ちゃんポストへ晩を預ける。
その職員が赤ん坊の異様な軟体性を怪しみ大きな病院へ転院、そこがUGNのとある支部が運営する病院だった。
オーヴァードだったことが発覚した晩は「桐生」という職員指導のもと技術を磨いていく。苗字は彼からもらい、
下の名前はおくるみに挟まれた小さな紙に「あきら」とあったためそれが彼女の名前となった。
大きくなるにつれ非オーヴァードの職員や通っているクラスメイト達の平和で何一つ代わりのない生活にちょっとだけ夢見ている。
もし平凡だったなら時々考えるがそれはある意味恐怖であるので今こうして生きているのが正解だと信じている。

髪型：猫耳ハーフアップのゆるウェーブ
顔：オルチャンメイク
制服の着崩し：インスタJKスタイル
桐生からは「お腹を冷やすからやめろ」と注意されている。